

平成 27 年 11 月 6 日
農 林 中 央 金 庫

福島県酪農業協同組合への復興ローン実行について
～福島復興牧場構想に対する金融支援対応～

農林中央金庫は、東日本大震災による原発事故等により避難を余儀なくされた酪農家 5 戸による共同出資法人の(株)フェリスラテ（以下、「同社」という。）が取り組む復興牧場を支援するため、福島県酪農業協同組合（以下、「県酪農協」という。）に対し、東北農林水産業応援ローン（復興ローン）の融資を実行いたしましたのでお知らせいたします。

本牧場は、同社が共同運営により東北最大規模の牧場経営に挑戦するものであり、低コスト経営や労働条件の改善（労働時間の短縮・休日の確保など）を目指すなど、福島県酪農業の生産基盤回復のほか、酪農業全体の課題克服に取り組むものです。さらに、JAと連携のうえ、同社が耕作放棄地を活用した牧草（自給飼料）の栽培や近隣農家への堆肥供給を通じた耕畜連携を目指すなど、将来の営農スタイルを先取りした取り組みとなります。県酪農協は、当金庫の復興ローン等による資金を原資に建設した牧場施設と購入した乳牛を同社にリースするとともに、牧場運営に関する技術・経営指導などを行います。

当金庫は、当該構想の準備段階から参画のうえ、今般融資実行した県酪農協に対する当牧場の設備、素牛導入資金対応のほか、同社の長期運転資金としてアグリビジネス投資育成株式会社と連携し東北農林水産業応援ファンド（復興ファンド）を拠出いたしました。また、同社のフォークリフト等機材に対する 10%のリース料助成や大規模・共同経営の実践に向けた先進地域への実地研修および専門家による実践研修等の費用助成など、多面的に支援を実施いたしました。

今般の復興ローンの融資実行により、本牧場の開業までに必要となる金融面、人材育成面での支援は完了いたしますが、引き続き県酪農協と連携のうえ、本牧場の安定運営に向け、経営面のサポートを行っていく予定です。

当金庫では、東日本大震災で被災を受けた農林水産業の復興を全力かつ多面的に支援するため、本ローンを含めた「復興支援プログラム」を創設しております。今後も「復興支援プログラム」を通じて被災された農林水産業者の皆さまの復興支援を継続してまいります。

以 上

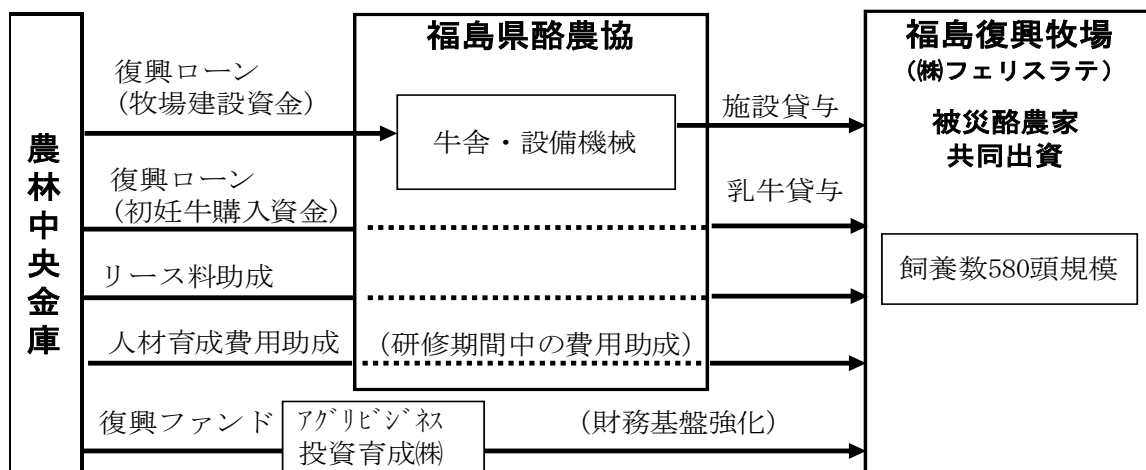
【本件に関するお問い合わせ先】
農林中央金庫 広報企画室（田口・三上）
TEL：03-5222-2017

福島復興牧場の概要

1 本事業の内容

牧場運営団体	(株)フェリスラテ 被災酪農家 5 戸が平成 26 年 4 月に設立した農業法人。復興牧場を運営し、福島県内最大の乳牛頭数による生乳生産、自給飼料の生産および堆肥販売などに取り組む。
施設保有団体	福島県酪農業協同組合 福島県内の酪農業を専門とする農協。生乳の集出荷、飼料の販売など、酪農に関する事業全般を行っている。復興牧場の施設および乳牛を(株)フェリスラテへリースする。
総投資額	19 億円（大規模牛舎・設備機械・乳牛等）
金庫の支援実績	金融面：復興ファンド，復興ローン，農機具リース料助成 人材育成面：人材育成費用助成
飼養頭数	580 頭規模
生乳生産量	年 5,000 トン（予定）
事業用地	福島市土船字新林 25-17（36,833 m ² ）
事業着工	平成 26 年 7 月
事業開始	平成 27 年 10 月
特長	・ 原発事故の避難農家が共同で東北有数の大規模経営に挑戦する取組み（新設法人としては最大級）。 ・ 震災を契機として酪農業の抱える構造課題にも対処。収益力強化や経営高度化（労働条件改善）を目指し、担い手確保につなげるもの。 ・ 経営形態を大きく転換するため、大規模経営に必要なノウハウ蓄積を関係団体（県酪農協や農林中央金庫）が支援。

2 本事業のスキーム図



3 復興牧場の搾乳牛舎



4 復興牧場への乳牛導入の様子

